- 1	9上未问 7	等專門学村	交 開講	中吳	平成28年	反 (20	川0年度)	」	業科目	情報処理Ⅱ		
科目基础	楚情報											
科目番号							科目区分		専門 / 必			
授業形態		授業		当	単位の種別と単位	立数	履修単位					
開設学科		電子制	御工学科	文	対象学年		2					
開設期						J.	週時間数 2					
教科書/教	金				語プログラミ する。	ング」	」(ソフトバンク) / http://moodle.maizuru-ct.ac.jp/moodle/					
担当教員		伊藤科	 記									
到達目標	<u> </u>	•										
②C言語の ③C言語の	D構造体に Dファイル	ついて理解 入出力につ	て理解する。 する。 いて理解する。 -タ構造について	理解す	する。							
ルーブリ	<u> </u>											
			理想的な致	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安		
李価頂日:	1			C言語の配列・文字列について理解			C言語の配列・文字列について理解					
評価項目1				し活用できる。			している。			していない。		
評価項目2	2		できる。	できる。						ない。		
評価項目	3		解し活用で	C言語のファイル入出力について理 C言語のファイ解し活用できる。 解している。			解している。			C言語のファイル入出力について解していない。		
評価項目4	4		基本的なえ	アルゴ [!] て理解!	リズムとデー? し活用できる。	タ構 碁	基本的なアルゴリ 造について理解し	ノズムと	テータ棒	基本的なアルゴリズムとデータ構造について理解していない。		
学科のエ	刘李口福	陌日レの	u'-	、⁻エ/ 汀┼	C.57 (1)	<u> </u>		J CV16		入土に ンマ・ピーエカナ ひ こ V ツ み V い		
	到達目標	点日への	大小木									
(H) */- / 	± 55											
教育方法	去寺											
既要		現在で ータを	はコンピュータ 使いこなすこと	だけて は必要	でなく電化製品 要不可欠である	品や自動車 る。本授第	車などにもコンI 業では,代表的が	ピュー? なプロ?	マが内蔵る ブラミンク	sれており,技術者にとってコンピュ が言語の一つであるC言語の基礎を学		
受業の進ん	 め方・方法	・	ドを用いた講義	とプロ		部習を中心	心に授業を進め					
	· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /			E用いた講義とプログラミング演習を中心に授業を進める。 ⊆期末試験の結果(80%),授業中に適時行うプログラム演習の提出状況など(20%)で総合的に評価する。								
Ŷ ≠ ⊢		到達目	標に基づき, Ci	言語の	配列,構造体	、アルニ	ゴリズムとデータ	7構造た	どの各項	目について達成度を評価基準とする		
		到達目 教室は ルや授 研究室 内線電	標に基づき, Ci :制御棟3階のCA !業進度に応じて : A棟3階(A-3 :話 8950	言語の AD/CAI 授業計 318)	配列,構造体 M教室を利用で †画は変更する	、アルコ する予定 る場合がる	ゴリズムとデータ Eである。授業内	7構造た 容によ 間に加り	さの各項 っては教:	Rなど(20%)で総合的に評価する。 目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レ∕ ≧出任意)を与える場合がある。		
	画	到達目 教室は ルや授 研究室 内線電 e-mai	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業進度に応じて A棟3階(A-3 話 8950 I: mito (a) m	言語の AD/CAI 授業計 318)	配列,構造体 M教室を利用で †画は変更する	、アルコ する予定 る場合がる	ゴリズムとデータ Eである。授業内 ある。夏休み期! トマークに変える	7構造な 容によ 間に加 _!	さどの各項 っては教 点課題(拼	目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レ/ &出任意)を与える場合がある。		
	画	到達目 教室は ル研究室電 内内線電 e-mai	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業進度に応じて A棟3階(A-3 話 8950 I: mito (a) m	言語の AD/CAI 授業計 318) aizuru	配列,構造体 M教室を利用す H画は変更する I-ct.ac.jp (a)	ま、アルニ する予定 る場合がる はアット	ゴリズムとデータ Eである。授業内 ある。夏休み期! トマークに変える	7構造な 容によ 間に加っ 過ごと	での各項っては教: 京課題(排	目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レバ 出任意)を与える場合がある。		
	画	到達 対 対 対 や が や で で で で で で で で で で で で で	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業進度に応じて A棟3階(A-3 話 8950 I: mito(a) m 授業内容 シラバス内容	言語のAD/CAI MD/CAI 授業記 318) aizuru 系の説明	配列,構造体 M教室を利用す 一個は変更する -ct.ac.jp (a) 明,情報処理]	ま、アルニ する予定 る場合がる はアット	ゴリズムとデータ Eである。授業内 ある。夏休み期! トマークに変える	7構造な 1容によ 間に加が 3 <u>週ごと</u> ①C言i	での各項 っては教 点課題(提 の到達目 のの配列・	目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レバ 出任意)を与える場合がある。 票 文字列について理解する。		
	画	到達目 教室は ル研究室電 内内線電 e-mai	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業進度に応じて A棟3階(A-3 話 8950 I: mito (a) m	言語のAD/CAI MD/CAI 授業記 318) aizuru 系の説明	配列,構造体 M教室を利用す 一個は変更する -ct.ac.jp (a) 明,情報処理]	ま、アルニ する予定 る場合がる はアット	ゴリズムとデータ Eである。授業内 ある。夏休み期! トマークに変える	7構造な 1容によ 間に加が 3 <u>週ごと</u> ①C言i	での各項 っては教 点課題(提 の到達目 のの配列・	目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レバ 出任意)を与える場合がある。		
	画	到達 対 対 対 や が や で で で で で で で で で で で で で	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業進度に応じて A棟3階(A-3 話 8950 I: mito(a) m 授業内容 シラバス内容	言語の AD/CAI 授業記 318) aizuru 序の説明	配列,構造体 M教室を利用す h画は変更する ı-ct.ac.jp (a) g,情報処理 I	ま、アルニ する予定 る場合がる はアット	ゴリズムとデータ ミである。授業内 ある。夏休み期「 トマークに変える	7構造な 容によ 間に加 <u>週ごと</u> ①C言詞	では教持には、一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の	目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レバ 出任意)を与える場合がある。 票 文字列について理解する。		
	画	到達目は対象を対象を対象を対象を対象をできます。 対し、研究をできます。 は、対象を対象をできます。 は、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業進度に応じて A棟3階(A-3 話 8950 I: mito(a) m 授業内容 シラバス内容 配列・文字列	言語の AD/CAI 授業計 318) aizuru Sの説明 可の基本	配列,構造体 M教室を利用す h画は変更する ı-ct.ac.jp (a) g,情報処理 I	s, アルニ する予定 5場合がる はアット I の復習	ゴリズムとデータ ミである。授業内 ある。夏休み期「 トマークに変える	7構造な 容により 間に加り 3 <u>週ごと</u> ①C言詞 ①C言詞	では教明のでは教育の記録を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を	目について達成度を評価基準とする 空で行う場合もある。学生の理解レバ出任意)を与える場合がある。 票 文字列について理解する。 文字列について理解する。		
注意点 授業計画	画	到達 は 教ルや究線 e-mai 週 1週 2週 3週	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業進度に応じて A棟3階(A-3 話 8950 I: mito(a) m 授業内容 シラバス内容 配列・文字列	言語の AD/CAI 授業計 318) aizuru Sの説明 可の基本	配列,構造体 M教室を利用3 †画は変更する u-ct.ac.jp (a) 明,情報処理 I 本	s, アルニ する予定 5場合がる はアット I の復習	ゴリズムとデータ ぎである。授業内 ある。夏休み期! トマークに変える	タ構造な 容により では のでと ので言い ので言い ので言い ので言い	の到達目に語の配列・	目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レイ 出出任意)を与える場合がある。		
	直 1stQ	到達 a	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業進度に応じて A棟3階(A-3 話 8950 I: mito (a) m 授業内容 シラバス内容 配列・文字列 配列・文字列	言語の AD/CAI 授業計 318) aizuru 野の説明 別の基本 リとポー	配列,構造体 M教室を利用3 †画は変更する u-ct.ac.jp (a) 明,情報処理 I 本	s, アルニ する予定 5場合がる はアット I の復習	ゴリズムとデータ である。授業内 ある。夏休み期 トマークに変える	ア構造な 容によい る ので言語 ので言語 ので言語 ので言語 ので言語	では教芸の子の一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レル 計出任意)を与える場合がある。 要 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。		
授業計画		到達 は 対 を 対 を 対 を 対 を 対 を で の で の で の で の で の で の で の で の	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業進度に応じて A棟3階 (A-3 話 8950 I: mito (a) m 授業内容 シラバス内容 配列・文字列 配列・文字列 配列・文字列 構造体	言語の AD/CAI 授業計 318) aizuru Pの説明の基本 リとポー	配列,構造体 M教室を利用3 †画は変更する u-ct.ac.jp (a) 明,情報処理 I 本	s, アルニ する予定 5場合がる はアット I の復習	ゴリズムとデータ ミである。授業内 ある。夏休み期! トマークに変える	7構造な 容により 3 ① C言語 ① C言語 ① C言語 ② C言語 ② C言語	ででは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レパ 出出任意)を与える場合がある。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。		
授業計画		到達 a to	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業進棟3階ににて A棟3階(A-3 話 8950 I: mito (a) m 授業内容 シラバ文字列 配列・文字列 配列・文字列 構造体	言語の AD/CAI 授業計 318) aizuru Pの説明の基本 リとポー	配列,構造体 M教室を利用3 †画は変更する u-ct.ac.jp (a) 明,情報処理 I 本	s, アルニ する予定 5場合がる はアット I の復習	ゴリズムとデータ ミである。授業内 ある。夏休み期! トマークに変える	7構造な 容により 3 ① C言語 ① C言語 ① C言語 ② C言語 ② C言語	ででは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レル 出出任意)を与える場合がある。 東 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 (こついて理解する。		
授業計画		到 教 ル 研内 e - m a l l l l l l l l l l l l l l l l l l	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業 A棟3階に (A-3 計	言語のAD/CAI MD/CAI 形製 aizuru Pの説明 Pの基本 リとポー コカ	配列,構造体 M教室を利用3 †画は変更する u-ct.ac.jp (a) 明,情報処理 I 本	ま、アルニ する予定 る場合がる はアット I の復習	ゴリズムとデータ ぎである。授業内 ある。夏休み期 トマークに変える	7構造な 容により 容に加り 3 ① C言語 ① C言語 ② C言語 ② C言語 ② C言語	でででは、	目について達成度を評価基準とする 室で行う場合もある。学生の理解レル 出出任意)を与える場合がある。 東 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 (こついて理解する。		
授業計画		到 教 上 財 主 は 対 に に に に に に に に に に に に に	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業 A棟3階に(A-3 開進度3階に(A-3 開進度3階に(A-3 開進度3階に(A-3 開発のででは、Minus (A) Minus (A) Minu	言語のAD/CAI AD/CAI 形形 AD/CAI BO BO BO BO BO BO BO BO BO BO	配列,構造体 M教室を利用で H画は変更する I-ct.ac.jp (a) 明,情報処理 I 本 インタ インタに関する	5、アルニ する予定 3場合がる はアット I の復習 の内容の	ゴリズムとデータ である。授業内ある。 夏休み期 トマークに変える	7構造な 容により 容により 3 ① C言語 ① C言語 ② C言語 ② C言語 ② C言語 ② Aる。	でででは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	目について達成度を評価基準とする空で行う場合もある。学生の理解レパ出出任意)を与える場合がある。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 (こついて理解する。) (ル入出力について理解する。 (ル入出力について理解する。)		
	1stQ	到 教儿研内e-	標に基づき、Ci 制御棟3階のCA 業 A棟3階に(A-3 開進度3階に(A-3 開進度3階に(A-3 開進度3階に(A-3 開発のででは、Minus (A) Minus (A) Minu	言語のAD/CAI AD/CAI B18) aizuru Pの基本 プレンポー コレンポー	配列, 構造体 M教室を利用で H画は変更する I-ct.ac.jp (a) 明, 情報処理 I 本 インタ インタに関する と解説, 前半の基本	5、アルニ する予定 3場合がる はアット I の復習 の内容の	ゴリズムとデータ である。授業内ある。 夏休み期 トマークに変える	7構造 た は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ででは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	目について達成度を評価基準とする空で行う場合もある。学生の理解レル語出任意)を与える場合がある。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 (こついて理解する。) なについて理解する。 (ル入出力について理解する。) (ル入出力について理解する。 (ル入出力について理解する。)		
授業計画		到 教 小研内 e- 週 週 1 2 3 週 4 週 5 週 6 週 7 週 8 週 9 1 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	標に基準のCA (第) (第) (第) (第) (第) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	言語のAD/CAI ID/CAI IB/IB/IB/IB/IB/IB/IB/IB/IB/IB/IB/IB/IB/I	配列, 構造体 M教室を利用で H画は変更する I-ct.ac.jp (a) 明, 情報処理 I 本 インタ インタに関する と解説, 前半の基本	5、アルニ する予定 5、オート 5、オート 1 の復習 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ゴリズムとデータ ぎである。授業内 ある。夏休み期 トマークに変える け ラム演習	7構造 は は で は で で で で で で で で で で で で で で で	ででは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	目について達成度を評価基準とする空で行う場合もある。学生の理解レル出出任意)を与える場合がある。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 (こついて理解する。) (小入出力について理解する。) (小入出力について理解する。) (小入出力について理解する。) (小入出力について理解する。) (小入出力について理解する。) (小入出力について理解する。)		
授業計画	1stQ	到達 x b y y y y y y y y y y y y y y y y y y	標に基準のCA (第) (第) (第) (第) (第) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	言語 AD/CAI i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	配列, 構造体 M教室を利用で H画は変更する I-ct.ac.jp (a) II-ct.ac.jp (a) II-ct	5、アルニ する予定 5、オート 5、オート 1 の復習 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ゴリズムとデータ ごである。授業内 ある。夏休み期 トマークに変える プラム演習	7構 字では、	ででは、	目について達成度を評価基準とする空で行う場合もある。学生の理解レルと出任意)を与える場合がある。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 文字列について理解する。 (ル入出力について理解する。)		

		15)	周	まとぬ	b			①C言語の配列・文字列について理解する。 ②C言語の構造体について理解する。 ③C言語のファイル入出力について理解する。 ④基本的なアルゴリズムとデータ構造について理解する。				
		16ì	周 :	期末テストの返却と解説								
モデルコ	アカリ	キュ	ラムの:	学習	内容と到達	目標						
分類	分類 分野		分野	学習内容の到達目標			五		到達レベル	授業週		
専門的能力			電気・電 系分野			プログラミング言語を用いて基本的なプログラミングができる。				2	後1,後2	
評価割合												
	試験			発表		相互評価	態度	ポートフォリオ	その他 合計		it	
総合評価割合		80		0		0	0	20	0		100	
基礎的能力 0		0 0		0		0	0	0	0		0	
専門的能力 80		30	0			0	0	20	0 100		0	
分野横断的能力 0		0		0		0	0	0	0			